

# 教えて！ ドクター Q&A

(株)宣通 (052) 979-1602 広告

**Q** 甲状腺の病気はなかなか見つかりにくくと聞きますが、自分でチェックできる方法があれば教えてください。



**A** 甲状腺は首の前面、鎖骨付近にある内分泌腺です。通常は外表面からその存在は分かりませんが、甲状腺が腫れたりできものができたりすると触診でわかることがあります。

甲状腺は成長、発育、エネルギー産生、様々な代謝・循環器系を調整するホルモンを分泌しています。ホルモンが出過ぎてしまう甲状腺機能亢進症では手の指が震える、動悸や息切れ、汗かきになる、下痢、体重が減るといった症状が、ホルモンが出にくくなる甲状腺炎機能低下症では無気力、瞼のむくみ、眉毛が抜ける、寒がりによる、便秘といった症状が出来ます。



院長 早瀬 修平  
(はやせ希望クリニック)

名古屋大学大学院医学研究科修了。医学博士。米国ニューヨーク市Francis Delafield Hospital、Harlem Hospital Center外科レジデント。ミネソタ州Mayo Clinic胸部心臓血管外科留学。金沢医科大学心臓血管外科講師、名古屋大学胸部外科助手、名古屋第一赤十字病院胸部外科部長。1997年4月より現職。

甲状腺の病気の代表例として、慢性甲状腺炎、バセドウ病、結節性甲状腺腫があります。慢性甲状腺炎は甲状腺の働きが必要です。バセドウ病は甲状腺機能亢進症を認め、抗甲状腺薬、アイソトープ、手術のいずれかによる治療が必要です。結節性甲状腺腫は甲状腺にできものができる病気です。良性の場合が多いですが、検査で悪性腫瘍が見つかることもあります。その場合は手術が必要です。

診断のためには血液検査、甲状腺超音波検査等を行います。適切な治療で症状が改善することが多いので、セルフチェックで甲状腺の病気を疑う場合は、内分泌疾患専門の病院への受診をおすすめいたします。